

教材活用シリーズ 第186回

☆日図協加盟出版社の発行している教材について、実際の授業における活用例、より効果を得られるポイント（場面・方法）などをご紹介します。

自分の考えを表現する力をつける作文教材

(株)秀学社
『コミュレシピ』
『自由英作ナビ』



(株)秀学社 編集部

「作文ニガテ…」をなくしたい

「何を書いたらいいのか分からない。」「書きたいことを言葉にできない。」そんな苦手意識から作文を遠ざけてしまっている生徒や、作文指導に困っている先生方のために、作文教材を国語・英語のそれぞれで作成しました。

どちらも書き始めのハードルを下げ、書く力を段階的に育てる工夫を凝らしているため、作文が苦手な生徒にも「まずは書いてみよう」という意識をもたせることができます。

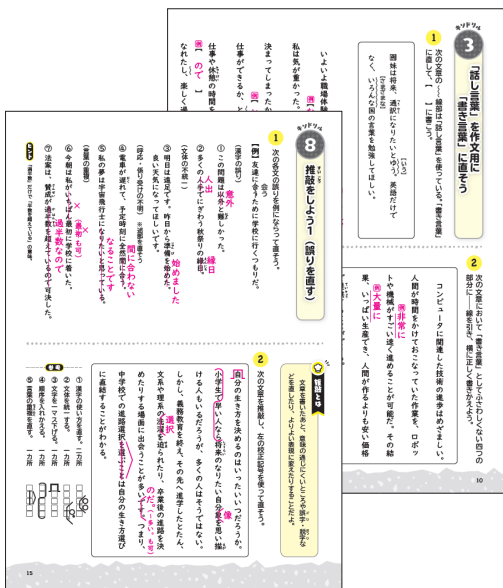


【国語】『コミュレシピ』

高校入試で課題作文を出題する都道府県は40程度ありますが、一方で、作文指導に十分な時間を割けず、思うような指導ができていないと感じる先生も少なくありません。そんな現場の状況をふまえ、『コミュレシピ』は、しっかりと基礎を固めたうえで、授業時間内で二百字作文まで書く練習ができる構成になっています。

●基礎から学べる「キソドリル」

14回分の「キソドリル」では、文の整え方や推敲の仕方など、作文の「いろは」を定着させることができます。



巻末に生徒用解答解説があるので、自主学習にお使いいただけます。この「キソドリル」で作文の基礎を定着させた後、ワークシートタイプになっている「レシピ編」で実際に二百字作文を書きます。

●二百字作文がスラスラ書ける「レシぴ編」
「レシぴ編」は授業でお使いいただくことを想定しています。作文の準備は手順に沿って記入欄を埋めるだけ。スモールステップになっているので、作文が苦手な生徒でも最後まで取り組みます。

二百字作文を書いた後は、ページ下のチェックポイントを使って生徒同士で相互評価ができます。
ご採用いただいた先生からは、「題材が面白いので、子どもたちも喜んで主体的に取り組むことができました。」などのお声もいただいております。

【英語】入試の自由英作文対策『自由英作ナビ』

自由英作文はおおよそ8割の高校入試で出題されていますが、決まった答えがない難易度の高い問題です。全国学力・学習状況調査では、約3割が無回答でした。『自由英作ナビ』は、そんな自由英作文に取り組む自信がつく教材です。

●スモールステップ

日本語と同じ感覚で英語を書くのは難しいことです。『自由英作ナビ』では、シンプルな内容の英作文から始め、そこに情報を付け足すことで文を長くします。このように段階を踏むことで、英作文に無理なく取り組めるようになっています。

▲ P. 4 シンプルな英文の作り方を確認する

▲ P. 6 まずはシンプルな英文を作ってみる

また、解答の完成に向けても段階を踏みます。紙面の指示に合わせて取り組めば、最初に主張、次に理由、最後にまとめを書く…と文章に順に少しずつ英作することができます。

●入試の改題で経験を積む

問題は一見開きに一題。近年の入試でよく扱われるテーマを入試の改題の形で出題しています。まったく同じテーマで出題されなくても、似たテーマや、近い条件設定が出題されれば、一度英作した経験が役立ちます。自由英作に取り組んでみることでそのものが、入試対策のひとつになります。

●生徒を助けるコンテンツ

スモールステップの紙面でも、何を書けばいいかわからない生徒には、二次元コードから見られるサイトにある例文が助けになります。

●先生方のご指導に役立つコンテンツ

先生方のご指導の際にご参考にしていただけますよう、教師用書には例解を朱書きで示しています。また、何回か取り組ませたい、本紙を提出用に使用したくない、生徒の解答をスキャンしたいといった場合に使える、印刷して配れる記入用紙のデータをご準備しています。

おわりに

デジタルが普及し、「紙に書く」機会が減っていますが、自分の手で自分の考えを書き記すことで、より確かな力が備わっていくと私たちは考えています。また、このような力は、入試だけでなく、社会に出てからも欠かせないスキルです。

私たちは『コミュニケーション』や『自由英作ナビ』を使って学習した子どもたちの「書く力」が確かなものとなり、生徒一人ひとりの財産となることを願っています。



▲ P. 8 二次元コード例